

日本セラミックス協会「セラミックス遺産」認定候補推薦書

提出日 年 月 日

認定候補

認定候補名	
具体的品目名	
所在地住所	
製作者（社）	
製作年、市販・使用期間＊1	

所有者（管理者）（＊ 記入要領を参照）

氏名及び所属 または所有機関	
郵便番号、住所	

推薦者

氏名	
所属・役職	
（支部名・部会名）＊2	
会員番号	
郵便番号、住所	
電話番号	
メールアドレス	

連絡担当者（推薦者と同一の場合は記載不要です）

氏名	
所属・役職	
郵便番号、住所	
電話番号	
メールアドレス	

1. 推薦理由（概要）（300 字程度で記載してください。）

--

2. 認定候補の詳細説明 * 3

認定候補について、下記項目それぞれを具体的に記載してください。

- (1) 独創性・先行性、(2) 普及性・基盤性、(3) 産業貢献、(4) 社会貢献、(5)歴史的・文化的価値

項目内容は、記入要領を参照してください。特に重要な項目(2項目)については詳細に記してください。
また、類似対象がある場合には本候補の優位性を、産業貢献では可能な限り実績(製造または販売)を記してください。より詳細な技術説明等がある場合は、別紙に記入し(A4 4 頁以内)、参考資料に加えてください。

関連資料(5件まで)＊4 1. 特許、2. 学術論文、3. 解説記事、4.その他 のタイトル、出典を記入してください。

3. 認定候補について

カテゴリー *5	記入要領を参照し、該当する番号または記号に1つずつ○を記入してください。
分野 (Ⅰ～Ⅲから)	()Ⅰ ()Ⅱ ()Ⅲ
対象 (1～3から)	()1 ()2 ()3
関連分野(A～Iから)	()A ()B ()C ()D ()E ()F ()G ()H ()I
保存状況 *6	保存継承への取り組みについて記入してください。
公開状況	当てはまるもの1つに○を記入してください。
()一般に公開 ()開示(手続きを経て公開)	
()非公開(Web サイト、写真、資料等のみ公開) ()非公開	
()その他()	
他の認定等	他の遺産認定や文化財指定等があれば記入してください。
所有者の同意 *7	有、無どちらかに○をつけてください。
()有 ()無	
紹介 WEB サイト	所有者や管理者が作成したサイトの有無をご記入ください。
()有(URL:) ()無	

4. 写真 (キャプションも並記してください)

推薦書 記入要領*** 1 製造年、市販・使用期間**

製造年、市販または使用の期間を分かる範囲で記入してください。

*** 2 支部名・部会名**

支部長、部会長推薦の場合のみ記入してください。

*** 3 詳細説明 記載項目とその内容**

右欄の内容例を参照し、(1)～(5)のすべての項目について記入してください。

(1) 独創性・先行性	・極めて初期に開発・製造されたもの・利用された技術等 ・他に先行した技術等により、従来よりも著しく価値を高めたもの
(2) 普及性・基盤性	・社会に広く普及し生活に浸透したもの ・多様な製品・技術の基盤となったもの
(3) 産業貢献	・新分野・新市場の創出に貢献したもの ・量産・市場拡大など産業発展に貢献したもの
(4) 社会貢献	・社会・生活の変革や発展に貢献したもの ・人や社会との調和に貢献したもの(安全性・環境保全性など) ・学術的価値の向上に貢献したもの
(5) 歴史的・文化的価値	・伝統に基づく技術・文化で伝承すべきもの ・生活の豊かさに繋がる文化・芸術性に優れるもの ・次世代への教育的価値の高いもの

特に重要な項目(2項目)については詳細に記してください。類似対象がある場合には本候補の優位性を、産業貢献では可能な限り実績(製造または販売の実績、市場での利用率等)を定量的に記してください。より詳細な技術説明等がある場合は、別紙に記入し(A4 4 頁以内)、参考資料に加えてください。詳細説明欄に図表を記載しても構いませんが、大きなスペースを取る場合は、参考資料に入れてください。

*** 4 関連資料**

1. 特許、2. 学術論文、3. 解説記事、4. その他(カタログ、新聞記事を含む)で計5件まで記載したうえで、PDF を提出してください。なお、5件を超えてある場合は、別紙に全リストを記入しても結構です。以下に記載例を記します。

1-1. ○○○(特許タイトル)○○○、特開 2018-110XXX.

2-1. ○○○(論文タイトル)○○○, *J. Ceram. Soc. Japan*, 114, page (2006).

*** 5 カテゴリー**

分野	I. 我が国の産業分野の技術革新や創造に貢献したもので、初出時点で独創性、新規性があったもの (明治以降の産業発展の基盤となったもの) II. 社会、生活、文化など世の中の変革や発展に貢献したもの (新分野・新市場の創出、生活の発展や新生活様式の創出に貢献したもの) III. 我が国の伝統に基づく技術、文化で次世代に教育的価値が高く伝承すべきもの (歴史的に価値のある技法、工法など)
対象	1. 保存、または実用されている装置、部材、製品、原料 2. 象徴的、代表的な土木建造物、プラント、構造物 3. 歴史的価値のあるプロセス技術等が記された資料
関連分野	A. 基礎科学、B. 資源・環境関連材料、C. 陶磁器・琺瑯、D. ガラス、E. セメント、 F. エンジニアリングセラミックス、G. 電子材料、H. 生体関連材料、I. その他

*** 6 保存・継承への取り組み**

具体的な実施内容(体制や人員も含めて)記入してください。

*** 7 同意書**

推薦書記入時点での所有者の同意の有無を記入してください。2025 年 10 月までには同意を得ておいてください。認定内定後、あらためて、所有者から同意書をいただきます。

問い合わせ先: 日本セラミックス協会 表彰担当 cersj-hyosho@ceramic.or.jp